

だい き さいわいくくみんかいぎだい かいせんもんぶかい
第5期幸区区民会議第12回専門部会
ちいきりよく く ぶかい
～地域力で暮らしやすいまち部会～
ぎ じ し だい
議 事 次 第

にちじ ねん がつ にち げつ じはん
日時 2015年11月30日(月)18時半から
ばしょ さいわいくやくしよ かいだい かいぎしつ
場所 幸区役所4階第4会議室

1 かいかい
開会

2 ぎだい
議題

- さいわいく きんじよさき あいも での じぎょう とりくみじょうきょう かくにん
(1) 幸区ご近所支え愛モデル事業の取組状況の確認
- ちいきこみゆにてい かつせいか し とりくみじれい じょうほうはっしん
(2) 地域コミュニティの活性化に資する取組事例の情報発信について
- ていげんないよう けんとう
(3) 提言内容の検討
- だい き さいわいくくみんかいぎふ おーらむ じっしないう けんとう
(4) 第5期幸区区民会議フォーラム実施内容の検討
- こんご すけじゅーる
(5) 今後のスケジュールについて

3 ほか
その他

4 へいかい
閉会

はいふしりょう
《配布資料》

- しりょう さいわいく きんじよさき あいも での じぎょう かくぶかい とりくみじょうきょう
資料1 幸区ご近所支え愛モデル事業 各部会の取組状況について
- しりょう ちいきこみゆにてい かつせいか し とりくみじれい じょうほうはっしん あん
資料2 地域コミュニティの活性化に資する取組事例の情報発信について(案)
- しりょう ちいきりよく く ぶかい ていげん だい
資料3 地域力で暮らしやすいまち部会からの提言(たたき台)
- しりょう だい き さいわいくくみんかいぎふ おーらむ じっしがいうあん
資料4 第5期幸区区民会議フォーラム実施概要案
- しりょう ちいきりよく く ぶかい ちょうさしんぎすけじゅーる あん
資料5 「地域力で暮らしやすいまち部会」調査審議スケジュール(案)
- しりょう だい き さいわいくくみんかいぎ すけじゅーる あん
資料6 「第5期幸区区民会議」スケジュール(案)
- ほか だい き さいわいくくみんかいぎだい かいせんもんぶかい ちいきりよく く ぶかい てきろく
その他1 第5期幸区区民会議第11回専門部会(地域力で暮らしやすいまち部会) 摘録
- ほか だい き さいわいくくみんかいぎいん さんよめいぼ
その他2 第5期幸区区民会議委員・参与名簿

だい かいせんもんぶかい ちいきりよく く ぶかい かくとくもくひょう
《第12回専門部会(地域力で暮らしやすいまち部会) 獲得目標》
ちいきこみゆにてい かつせいか し とりくみじれい じょうほうはっしんないよう かくにん
・ 地域コミュニティの活性化に資する取組事例の情報発信内容の確認
ていげんないよう けんとう
・ 提言内容の検討
くみんかいぎふ おーらむ じっしないう けんとう
・ 区民会議フォーラムの実施内容の検討

※11月9日推進会議資料から抜粋

幸区ご近所支え愛モデル事業 各部会の取組状況について

| 1 柳町部会 | | |
|--------|------|---|
| 第1回 | 日 時 | 7月31日(金) 19時～ |
| | 参加委員 | 16人(区長・福祉事務所長出席) |
| | 取組内容 | ・シート「地域課題について」をもとに部会で協議した。 ・「個人シート」を「きになるシート」と名称変更することが決定した。 |
| 第2回 | 日 時 | 9月11日(金) 19時～ |
| | 参加委員 | 14人 |
| | 取組内容 | ・モデル事業の対象とするかどうかを協議し、決定した。 提出された「きになるシート」11人(17枚)、対象者8人 |

| 2 河原町13・14・15号棟部会 | | |
|-------------------|------|--|
| 第1回 | 日 時 | 7月6日(月) 19時～ |
| | 参加委員 | 17人(区長・福祉事務所長出席) |
| | 取組内容 | ・シート「地域課題について」をもとに部会で協議した。 ・要支援会議(河原町団地13・14・15号棟自治会で独自に取り組んでいる見守り活動)であげられている方は、全員個人シートに名前をあげることが決定した。 ・1年間分の月間計画が記載できる「月間計画カレンダー」に、備考欄を設けた方がよいという意見がだされた。 |
| 第2回 | 日 時 | 9月4日(金) 14時～ |
| | 参加委員 | 16人(保健所長出席) |
| | 取組内容 | ・モデル事業の対象とするかどうかを協議し、決定した。 提出された「個人シート」52人(52枚)、対象者37人 |
| 第3回 | 日 時 | 11月6日(金) 14時～ |
| | 参加委員 | 13人(保健所長出席) |
| | 取組内容 | ・支援計画を作成する担当者を決定し、具体的な支援内容を「月間計画表」として作成した。 |

| 3 東小倉部会 | | |
|---------|------|--|
| 第1回 | 日 時 | 6月30日(火) 15時～ |
| | 参加委員 | 12人(区長・福祉事務所長出席) |
| | 取組内容 | ・シート「地域課題について」をもとに部会で協議した。 ・同居者がいるが、何らかの理由で同居者を頼ることができない場合は「ひとり暮らしまたは高齢者のみの世帯の者」とみなすことが確認された。 |
| 第2回 | 日 時 | 8月11日(火) 10時～ |
| | 参加委員 | 10人 |
| | 取組内容 | ・モデル事業の対象とするかどうかを協議し、決定した。 提出された「個人シート」30人(30枚)、対象者27人 |
| 第3回 | 日 時 | 10月13日(火) 10時～ |
| | 参加委員 | 10人 |
| | 取組内容 | ・支援計画を作成する担当者を決定し、具体的な支援内容を「月間計画表」として作成した。 部会員を中心としつつ、部会員以外の方の協力も得られている計画がある。 ・第5回部会を2月末日に開催することが決定した。 |

平成27年度 幸区ご近所支え愛モデル事業 スケジュール(案)

| | | 平成27年度 | | | | | | | | | | | |
|------|-----------------------|--|----|---------------|----------------------------|---------------|---------------|---|----------------|----------------|---|-------------|----|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 推進会議 | | | | 第1回 6/9 | | 第2回 8/7 | | | 第3回 (11/9) | | | 第4回 (下旬) | |
| | | 1 ご近所支え愛モデル事業について 2 推進会議及び部会の設置について 3 スケジュールについて | | | 1 部会の取組状況について 2 講演会について | | | 1 部会の取組状況について 2 事例集の作成について 3 モデル事業の課題について | | | 1 部会の取組まとめ 2 事例集の作成について 3 モデル事業の課題について 4 平成28年度モデル事業について | | |
| 部会 | 柳町 | | | | 第1回 (7/31) | | 第2回 (9/11) | | 第3回 (11/13) | | 第4回 (下旬) | | |
| | 河原町 13・14・15 号棟 | | | | 第1回 (7/6) | | 第2回 (9/4) | | 第3回 (11/6) | | 第4回 (1/21) | | |
| | 東小倉 | | | 第1回 (6/30) | | 第2回 (8/11) | | 第3回 (10/13) | | 第4回 (12/15) | | 第5回 (下旬) | |
| 講演会 | | | | | | | 講演会 (9/1) | | | 講演会 (12/10) | | | |

ちいきこみゆにてい かつせいか し とりくみじれい じょうほうはっしん あん
地域コミュニティの活性化に資する取組事例の情報発信について（案）

1 きほんてき かんが かつた
基本的な考え方

- (1) ちいきこみゆにてい かつどう かつせいか ちょうないかい じちかい とりくみ いっそうすいしん こうかてき
地域コミュニティ活動の活性化には、町内会・自治会の取組を一層推進することが効果的であると
かんが
考えます。
- (2) ちいきりよく く しんないおよ たとし ちょうないかい じちかい こうかてき
「地域力で暮らしやすいまち部会」では、市内及び他都市の町内会・自治会における効果的な
とりくみじれい
取組事例について、活性化の視点ごとに整理しました。
- (3) せいり してんおよ とりくみじれい しせい さいわいくぼん こうほうとくべつごう こうほうばいたい ちょうないかい
整理した7つの視点及び取組事例は、市政日より幸区版や広報特別号などの広報媒体、町内会・
じちかい とりくみじれい しょうかい こどもかんれん いべんと どう ばねる てんじ かつよう
自治会の取組事例の紹介、こども関連イベント等でのパネル展示などで、活用していくことが考
えられる。

2 してんおよ とりくみじれい
7つの視点及び取組事例

| してん 視点 | おも とりくみじれいどう 主な取組事例等 |
|--|---|
| ① こうれいしゃ 高齢者の暮らしやすさ | <ul style="list-style-type: none"> ・みまも たす あねつとわーく こうかんどお ちょうめちょうないかい 見守り助け合いネットワーク（鋼管通り2丁目町内会） ・じたく りょうどなり みまも かつどう たちかわしおおやまじちかい 自宅の両隣を見守る活動（立川市大山自治会） ・ゆうあいかつどう とお みまも とでちゅうぶちょうないかいろうじんかい 友愛活動を通しての見守り（戸手中部町内会老人会） ・さいわいく きんじよさき あいもでるじぎょう さいわいくもでるちく 幸区ご近所支え愛モデル事業（幸区モデル地区） など |
| ② こぞだ 子育てのしやすさ | <ul style="list-style-type: none"> ・おおやま ま さぼーとせんたー たちかわしおおやまじちかい 大山ママさんサポートセンター（立川市大山自治会） ・みんせいいいん きょうりよく こぞだ さろん うんえい よこはましほんもく ちょうめほくぶ 民生委員と協力した子育てサロンの運営（横浜市本牧二丁目北部 ちょうないかい 町内会） |
| ③ ちいきじゆうみん こうりゆうそくしん 地域住民の交流促進 | <ul style="list-style-type: none"> ・じゅうみん みずか つく いべんと じっし たちかわしおおやまじちかい 住民が自ら作るイベントの実施（立川市大山自治会） ・せいそうかつどう しょうがっこう かんけいこうちく こうりゆう とでちゅうぶつくもかい 清掃活動や小学校との関係構築による交流（戸手中部九十九会） ・きんりんちょうないかい だいきほまんしょん れんけい 近隣町内会と大規模マンションとの連携 (神明町町内会・オーベルグランディオ川崎自治会) など |
| ④ あんぜん あんしん かくほ 安全・安心の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・いちがいいく みざろ ーた いべんたい かつどう ようこうだいきだんちがいちかい 「一街区さわやかパトロール隊」による活動（洋光台北団地一街区自治会） ・いざというときのための繰越金等の確保（横浜市くぬぎ台団地自治会他） ・じちかい かつどうしやうがいほけん かにゅう たちかわしおおやまじちかい 自治会活動傷害保険への加入（立川市大山自治会） など |
| ⑤ かにゅう めりつと ちよっけつ 加入のメリットに直結 する取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・きょうどうこうにゅう しく よこはまし だいだんちじちかい 共同購入の仕組み（横浜市くぬぎ台団地自治会） |
| ⑥ みぢか かん 身近に感じる事が できる取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・じかんたいせい そうだんまどぐち たちかわしおおやまじちかい 24時間体制の相談窓口（立川市大山自治会） ・じちかい かいかんどう すたっふ じょうちゅう よこはまし だいだんちじちかいほか 自治会会館等でのスタッフ常駐（横浜市くぬぎ台団地自治会他） など |
| ⑦ かにゅう さんか 加入・参加のしやすい かんきょう 環境づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・じんざいぼんく たちかわしおおやまじちかい 人材バンク（立川市大山自治会） ・やくいんかつどうひ しほら せたがやくさくらじょうすい一ちょうめちやうかい 役員活動費の支払い（世田谷区桜上水一丁目町会） ・ちょうないかいにゆうかいとだけ めーる たいおう よこはましひがしやまださんちやうめちやうないかい 町内会入会届のFAXやメールでの対応（横浜市東山田三丁目町内会） ・てんにゅうしや こぞだ せいたいどう たーげつと しぼ こべつほうもんどう 転入者や子育て世帯等のターゲットを絞った個別訪問等による周知 (八王子市上宿町会) (はちおうじしやうしやくちやうかい) ・じちかい うんえい こうりつつか あさおく のじちかい 自治会運営の効率化（麻生区はるひ野自治会） など |

視点1 高齢者の暮らしやすさ

＜取組事例＞

①見守り・助け合いネットワーク【鋼管通り2丁目町内会（川崎区）】

全戸アンケート調査を実施し、日頃の見守りや災害時の支援などを希望する人を募り、近隣の人に支援者となってもらい日頃の見守り活動を行っている。見守り対象者の希望に応じて、日常見守り、定期見守り、災害時救護の3つに見守り活動を行っている。

②高齢者のサロンの運営【くぬぎ台団地自治会等（横浜市）】

くぬぎ台団地自治会では、高齢者の交流等を目的として、70歳以上の単身者を対象に3か月に一度、集会所で高齢者サロンをおこなっている。

こうした高齢者が気軽に立ち寄り、交流できる場づくりが各地で行われている。

③れんらくカードの作成・防災訪問（70歳以上が対象）【くぬぎ台団地自治会（横浜市）】

住所、氏名、血液型、通院先などの情報を記入する「れんらくカード」を作成し、高齢者の安心な暮らしにつなげている。毎年2月に対象者に対して「防災訪問」を行い、「れんらくカード」の情報更新、または新規作成を行っている。

④自宅の両隣を見守る活動の導入（ガス会社、電力会社、水道局、新聞販売店）【大山自治会（立川市）】

高齢化率が30%を超え、独居高齢者も多数いる状況において、自宅の両隣を見守る活動を導入し、「一軒が二軒を見る」ことを徹底している。

⑤友愛活動を通しての見守り（原則老人クラブ会員が見守り対象）【戸手中部町内会老人会「九十九会」（幸区）】

老人クラブ連合会全体の取組である「友愛活動」により、寝たきりや一人で歩けない高齢者を対象に、見守り活動を行っている。見守り対象者は、九十九会の会員で、区の老人クラブ連合会にも登録している人である。活動内容としては、2か月に1回程度、対象者の自宅を訪問し、話し相手になっているほか、訪問時に月ごとに作成している九十九会の行事予定を配布し、外出を促している。

⑥地域包括支援センターとの連携（会議への定期的参加）【戸手中部町内会老人会「九十九会」（幸区）】

町内会・自治会等の関係者が地域包括支援センターの会議に出席し、寝たきりや虚弱者の問題などについて意見交換を行ったり、町内会・自治会等の内部で地域包括支援センターについての周知を行ったりするなど、地域包括支援センターとの連携を深める取組を行っている。

⑦高齢者の買物支援【若葉自治区会（北九州市）】

高台にある戸建て住宅地で交通の便が悪いことから、自治会独自の事業として、月2回、近所のスーパーまで1往復100円で乗ることができる「買い物タクシー事業」を実施している。帰りは買い物荷物があがるため、自宅で降車できるようにしている。買い物支援だけでなく、高齢者の外出機会をつくるとともに、コミュニケーションの場にもなっている。

⑧安否確認用マグネットを活用した見守り活動【光が丘第三アパート自治会（練馬区）】

高齢者に安否確認用のマグネットを配布し、ボランティアが毎朝、玄関にマグネットがあるかどうかを確認する見守り活動を行っている。プライバシー侵害の懸念があったが、それよりも命の大切さを訴え、実行に移している。

⑨高齢者の見守り活動を行う「おたすけたい」の運営【横川町住宅自治会（八王子市）】

自治会内の高齢者世帯に対し、電球の交換や家具の移動など、身の回りの世話を行う「おたすけたい」という組織を運営している。これまで会員が社会で経験してきた特技、技術を活かしたサービスを行っている。

⑩幸区ご近所支援愛モデル事業【柳町自治会・河原町団地13・14・15号棟自治会・東小倉町内会（幸区）】

住み慣れた場所で安心して暮らし続けることができる地域の実現を目指し、地域全体で自助・互助の醸成に取り組むことを目的に平成27年度に実施した。町内会・自治会や民生委員など地域住民が主体となって「何らかの支援を必要とする人」に対し、日頃の声掛けや地域の行事への参加の誘いなどを行っている。

⑪向こう三軒両隣の精神に根差した顔に見えるまちづくり【鷺沼町会（宮前区）】

認知症高齢者の徘徊発見訓練を実施するとともに、徘徊者捜索のための連絡網を作成している。災害時における地域の共助を重視した防災訓練を実施し、参加者500人を超え、地域の交流の場にもなっている。

視点2 子育てのしやすさ

①大山ママさんサポートセンター（大山MSC）【大山自治会（立川市）】

元保育士や看護師なども含む、平均年齢50代、子育てを経験したプロ集団24名で平成11年11月に設立した。

主な活動内容は、一時保育（無料）、児童虐待の防止、育児相談（無料）等で24時間対応し、必要に応じて宿泊もできる施設になっている。高齢者の話し相手や見守り等の要望にも対応した取り組みを行っている。

②会館を有効活用し、民生委員児童委員と協力して運営する子育てサロン【本牧二丁目北部町内会（横浜市）】

赤チャン教室に集まったお母さんたちが、教室終了後も立ち話をして情報交換をしている姿を見て、気軽に集まれる場所として、町内会館を活用し、子育てサロン「親子の広場PAOPAO」の運営を始めた。毎週水曜午前10時から正午まで、民生委員児童委員と町内会福祉部が協力して運営している。

視点3 地域住民の交流促進

①住民が自ら作るイベントの実施【大山自治会（立川市）】

イベントごとに協力員を募集し、企画立案、演出、参加者の確保などを行い、イベントを実施し

ている。協力員自らが創意工夫で楽しいイベントを作っている。イベントの開催によって、地域住民が顔見知りになり、交流が生まれるとともに、防災力の向上にもつながっている。

② 清掃活動や小学校との関係構築による交流【戸手中部町内会老人会「九十九会」】

毎月第2・4日曜日に戸手小学校・川崎商業高校付近の緑道の清掃活動を行っている。20名程度が参加している。清掃活動は、ボランティアとして行っているが、会員同士の交流の場にもなっていて、散歩感覚で楽しみながら実施している。

③ コミュニティカフェなどの交流の場づくり【ボランティアグループすずの会（宮前区）等】

ボランティアグループすずの会では、地域で孤立しがちな高齢者や障害者、子育て中の母親が気軽に集まれる場（ダイヤモンドクラブ）をつくっている。緩やかな信頼関係づくりを心がけ、あえて定期的な開催日時は決めていない。また、ご近所のつながりを大切にするため、ダイヤモンドクラブの参加者には個人宅の開放をお願いしている。

こうした地域住民の交流を促進する場づくりが各地で行われている。

④ 近隣町内会と大規模マンションとの連携【神明町町内会・オーベルグランディオ川崎自治会（幸区）】

平成17年に建設された430世帯のマンションが自治会設立に当たり、近隣の神明町町内会の行事に参加し、運営のノウハウを教わるとともに、人的交流を図っている。現在ではオーベルグランディオ川崎自治会主催のもちつき大会に、神明町町内会から応援があるなど、協力関係が築かれている。

⑤ 地元の伝統文化等を活用した地域活動【新丸子東2・3丁目親和会（中原区）】

新丸子東2・3丁目親和会は、神社の祭礼、阿波おどり、丸子の渡し、運動会など、地域の行事に密接に関わり、地域としての結束力を強めている。

⑥ マンションと戸建てが共に進めるまちづくり【井田協友会（中原区）】

平成7年頃から建設されているマンションに対して、開発段階から開発業者へ積極的にアプローチするとともに、管理組合に対してこまめな対応を行い、現在では、マンション世帯が井田協友会加入者全体の約2/3を占めている。町内会加入後は、運営の透明性に配慮するとともに、情報発信・共有を行い、防災訓練・お祭り等の行事への参加を促進している。

視点4 安全・安心の確保

① 防災・防犯活動（イベントや防災訓練）【大山自治会（立川市）】

「防災ウォークラリー大会」などのイベントや「防災訓練」の実施、他団体との協力による「あいあいパトロール隊」活動の実施、「大山自治会防災計画マニュアル日ごろの備え10か条」の配布などの取り組みを行っている。

② 地域に即した「実践防災テキスト」の作成【つつじが丘自治会（横浜市）】

「大地震が起こったら、私たちの住むこのつつじが丘はどうなるのか」と言う住民の疑問に答えるとともに、「災害時に備え、住民の皆さんに知っておいて欲しいこと」を伝えるために、「つつじ

が丘はどうなるのか」にこだわった防災テキストを作成した。

③ 防犯ステーションの運営（ボランティア）【瀬谷四丁目町内会（横浜市）】

相鉄線瀬谷駅を利用する他の町内会も含め、1世帯100円の募金を呼びかけ、200万円集め、駅北口に防犯ステーションを建設した。関係する町内会が協力し、ボランティアで運営している。

④ 「一街区さわやかパトロール隊」による活動【洋光台北団地一街区自治会（横浜市）】

「一街区さわやかパトロール」を結成し、毎朝6時半過ぎ頃から、団地の広場に集まり、みんなでラジオ体操を行った後に町内のパトロールを実施している。空き巣被害の多い時期があったが、毎日の防犯パトロールでその件数は大幅に減少した。住民の目が届いていることをアピールし続けることが犯罪抑制につながっている。

⑤ 住民の異変を察知するヒント等をまとめた「おせっかいなまち・光が丘」の作成・配布【光が丘地区連合協議会（練馬区）】

地域の課題になっていた「孤立死」の対策として、住民が異変を発見した場合に、どこに連絡・相談すればいいかが分かるようにしたほうがいいという考えから、「おせっかいなまち・光が丘～孤立死ゼロをめざして～」を作成し、光が丘地域の住民に全戸配布した。

冊子には、自分の存在を知ってもらうために「玄関のドアに表札をかけること」から始まり、近所の人の変化を発見するポイント、異変を発見した時の相談先、相談後の専門機関による対応例など、住民だからこそその視点やアイデアが記載されている。

⑥ いざというときのための繰越金等の確保【大山自治会（立川市）、くぬぎ台団地自治会（横浜市）】

災害等に備えて、食事、飲み物などの確保や、いざというときに利用できるお金の積立などが行われている。

⑦ 自治会活動傷害保険への加入【大山自治会（立川市）】

全世帯がケガ、病気、犯罪、食中毒などを対象とした自治会活動傷害保険に加入し、安心して自治会活動が行えるようにしている。

⑧ 3本だての名簿作成（全住民の自治会名簿、高齢者の名簿、子どもの名簿）【大山自治会（立川市）】

全住民の基礎データを登録した自治会名簿の他に、65歳以上の高齢者名簿、子どもたちの名簿を作成し、高齢者や子どもたちの状況を把握している。名簿の管理にあたっては、他人が見ても分からないような記号で記し、役員（3役）だけが把握できるようにしている。

⑨ まちの実情を知り防災を考える取組【中野島町会（多摩区）】

平成19年に「安全・安心のまちづくり」の具体化を考えるために防災委員会を設置し、まち歩きを通じて危険箇所を把握し、町会独自の防災マップを作成した。

視点5 加入のメリットに直結する取組

①共同購入の仕組み【くぬぎ台団地自治会】

畳、ふすまなどの取替えが個人負担となるため、自治会が居住者に対して、共同購入の募集を行い、より安価に取替え等ができるようにしている。共同購入が自治会の加入メリットにもなっている。

視点6 身近に感じることでできる取組

①24時間体制の相談窓口【大山自治会（立川市）】

会長をはじめとする役員が自治会専用の携帯電話を持ち、いつでも住民からの相談に対応できるようにしている。

②自治会会館等でのスタッフ常駐【大山自治会（立川市）、くぬぎ台団地自治会（横浜市）、下和泉住宅自治会（横浜市）】

住民に対しきめ細かな対応を行うとともに、町内会・自治会の施設を気軽に利用できるようにしてもらうために、相談窓口として自治会館などにスタッフを常駐させている。スタッフは有償の場合もある。

③「何でも相談会」の取組【光が丘第三アパート自治会（練馬区）】

自治会会長が、当時会長になる前に、自宅で月1回、無料の住民向け「何でも相談会」を始めた。いつでも相談できるように、会長自身の携帯電話番号を記載したチラシを、近隣棟を含め、4000戸に配布し呼びかけた。

視点7 加入・参加しやすい環境づくり

①人材バンク（様々な技術を持っている住民のリスト化）【大山自治会】

会長が日頃得る情報を踏まえ、パソコン、絵、大工、板金屋、植木屋、和裁、洋裁、折り紙、書道など、様々な技術を持っている住民をリスト化し、その技術を活用して、住民サービスを行っている。

②大学との連携【長沢まちづくり協議会（多摩区）】

長沢まちづくり協議会は「通りすがりのまち」から「魅力のあるまち」にするために、住民と商店会の有志が集まり、設立された。長沢のまちおこしを目的に空き店舗を活用して開設されたコミュニティ施設である「長沢ひろば」の施設運営を地元の専修大学と連携して行い、イベントなどを実施している。

③公募委員の委員会でまちづくりの課題を解決【下和泉住宅自治会（横浜市）】

役員が課題解決にあたりと任期が切れた場合、課題解決が先送りになる可能性があることから、まちづくりの課題ごとに地域から委員を公募し、委員会を設置して検討し、課題解決まで解散しない仕組みをつくっている。当初は住民の自主参画を促すのが狙いだったが、自分たちの手でまちを良くしていくことの感動が味わえるので、地域活動のやりがいにつながっている。

④役員活動費の支払い【桜上水一丁目町会（世田谷区）】

役員は全てボランティアという考え方を改め、町会会員が町会外で活用した場合は、交通費実費と活動費を支給している。また、防犯パトロールの場合も障害保険に加入するとともに、活動費を支給している。

⑤活動に関わる程度によって入会できる仕組みの構築【小山二丁目自治会（相模原市）】

自治会活動に関心が薄く、加入世帯が多くなりがちなマンション、賃貸アパートの居住者を「特別会員」、地域内の事業者を「賛助会員」、常時活動への参加が難しい会員などを「協力員」として、それぞれの立場やライフスタイルに合わせた会員を設定している。

⑥町内会入会届のFAXやメールでの対応【東山田三丁目町内会（横浜市）】

集合住宅の加入促進に取り組む中で、気軽に入会してもらおう工夫として、FAXやメールで入会できるようにしている。

⑦転入者や子育て世帯等のターゲットを絞った周知（個別訪問等）【上宿町会（八王子市）】

転入世帯に対して、各組単位で情報をつかみ、理事会に報告し、入居後7～10日以内に会長副会長の2名で戸別訪問するようにしている。訪問する際、総会資料をもとに年間の行事予定や会費などについて説明を行い、特に子どもがいる世帯には、地域内の子ども育成会という組織の紹介、お祭りをはじめとする各種イベントの案内など、小さな子どもでも参加できる行事を通じ、地域で安心して暮らせるための見守り活動を行っている姿勢をアピールするようにしている。

⑧内容充実の会報【本牧二丁目北部町内会（横浜市）】

手作りの町内会報に行事予定を中心としたお知らせを盛り込むとともに、町内会活動への理解と参加も呼び掛けている。

⑨自治会独自のホームページの作成【鷺鷥沼自治会（多摩区）】

自治会だよりのほかに、自治会独自のホームページを作成し、イベント情報から防災・防犯、環境情報といった自治会の取組を積極的に発信している。

⑩自治会運営の効率化【はるひ野町内会（麻生区）】

平成15年に住居建設・分譲が開始され、平成16年にははるひ野町内会が設立された。会員世帯は1,500世帯を超え、戸建てはほぼ100%加入している。計画書や報告書を充実させ、見える化を推進しているほか、ビジネスマン中心のため、会議開催数を極力少なくし、メールを活用することにより運営の効率化を図っている。

3 ピックアップ

視点7 加入・参加しやすい環境づくり

■人材バンク（様々な技術を持っている人のリスト化）【大山自治会（立川市）】

| | |
|----------------------------|---|
| <p>取り組み概要 ※1</p> | <p>会長が日頃得る情報から、パソコン、絵、大工、板金屋、植木屋、和裁、洋裁、折り紙、書道など、様々な技術を持っている住民をリスト化し、その技術を活用して、住民サービスを行っている</p> |
| <p>取り組みに至った背景 ※2</p> | <p>すでに社会で発揮されている能力、また、資格や経験があるのに活用されていない能力を、自治会のために発揮してもらうため</p> |
| <p>取り組みのポイント ※2</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・自治会に眠っている能力や技術を持っている人材の情報を整理し、リスト化（情報の見える化） ・住民の困りごとを住民の力で解決 ・課題解決を通じて、コミュニケーションの輪が広がる |
| <p>部会としての注目ポイント ※3</p> | <ul style="list-style-type: none"> ◎多様な人材の発掘につながる。 ◎人材の紹介で輪が広がり、趣味の会やボランティアが発掘できる ◎ボランティアを充実させることにより支援を拡大できるのではないかと |

※1 網羅的な紹介と同じ内容

※2 収集した資料等の情報から整理

※3 第11回専門部会資料2 地域コミュニティの活性化に向けた取組事例の活用についてから抽出整理

ちいきりょく く ぶかい ていげん だい
地域力で暮らしやすいまち部会からの提言（たたき台）

だれ く じつげん
◎誰もが暮らしやすいまちの実現

ていげん だれ す な ちいき あんしん く
提言1：誰もがいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていくため、これからの
ちいきほうかけ あしすてむ こうちく ちいきじゅうみん しゅたい とりくみ しえん
地域包括ケアシステムの構築につながる、地域住民が主体となった取組を支援
し、じじよ ごじよ いしき じょうせい ていあん
自助・互助の意識を醸成することを提案します。

しゅし
《趣旨》

- だんかい せだい やく まんにん さいいじょう へいせい ねんいこう こくみん いりょう
○団塊の世代（約800万人）が75歳以上となる2025（平成37）年以降は、国民の医療
かいご じゅよう そうか みこ ちいき じつじょう おう ちいきほうかけ
や介護の需要が、さらに増加することが見込まれており、地域の実情に応じた地域包括
けあしすてむ こうちく もと
ケアシステムの構築が求められています。
- かわさきし へいせい ねん がつ かわさきしちいきほうかけ あしすてむすいしんび じょん
○川崎市では、2015（平成27）年3月に「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」
さくてい ちいきほうかけ あしすてむ こうちく む きほんてき かんが かつ しめ
を策定し、これからの地域包括ケアシステムの構築に向けた基本的な考え方を示していま
す。
- さいわいく さいわいく きんじょささ あいも てる じじょう みまも たいせい じゅうじつ かいごよぼう けんこうちょうじゅ
○幸区では、「幸区ご近所支え愛モデル事業」など、見守り体制の充実や介護予防・健康長寿
む ちいきじゅうみん しゅたい とりくみ すて
に向けて、地域住民が主体となった取組が既にはじまっています。
- ちょうないかい じちかい みるせいいん じどういん ちいきかつどうだんたい ちいき さまざま ぶんや
○町内会・自治会、民生委員児童委員、地域活動団体などは、地域において、様々な分野で
けいぞくてき かつどう おこな かつどう つう かお み かんけい
継続的な活動を行っています。こうした活動を通じた、顔の見える関係づくりは、これか
らちいきほうかけ あしすてむ こうちく とりくみ かんが
らの地域包括ケアシステムの構築につながる取組であると考えます。
- ちいきじゅうみん しゅたい とりくみ しえん さまざま きかい こうほうばいたい かつよう
○こうした、地域住民が主体となった取組を支援するとともに、様々な機会や広報媒体を活用
じょうほうはっしん ちいき りかい ふか じじよ ごじよ いしき じょうせい
し、情報発信することで地域の理解が深まり、自助・互助の意識を醸成することにつな
がるものと考えます。

ちいきこみゆにてい かつせいか
◎地域コミュニティの活性化

あん
(案1)

ていげん ちいきこみゆにてい さら かつせいか む ちょうないかい じちかい かつどうないよう
提言2：地域コミュニティの更なる活性化に向けて、町内会・自治会の活動内容について、
さまざま こうほうばいたい かつよう こうかてき しゅうち ていあん
様々な広報媒体を活用して効果的に周知することを提案します。

しゅし
《趣旨》

- 町内会・自治会では、明るく住みやすい、安心できるまちづくりのため、住民同士の交流や防災・防犯など地域課題の解決に向けた活動が行われていますが、区内の町内会・自治会の世帯加入率は減少傾向にあるとともに、町内会・自治会の会員や役員の高齢化が進んでいます。
- 平成27年4月には、川崎市町内会・自治会の活動の活性化に関する条例が施行され、町内会・自治会の役割や市の責務が定められています。
- 区民会議で実施した、ヒアリング調査等で収集した市内及び他都市の町内会・自治会等の取組の中には、町内会・自治会活動の活性化に有効だと思われる取組があり、それらを活性化の視点ごとに整理しました。
- こうした点を踏まえ、町内会・自治会の活動内容について、活性化の視点や取組事例などと併せて紹介するなど、様々な方法で町内会・自治会活動を周知することが効果的であると考えます。

あん
(案2)

ていげん ちいきこみゆにてい さら かつせいか む ちょうないかい じちかい こうかてき
提言2：地域コミュニティの更なる活性化に向けて、町内会・自治会における効果的な
とりくみじれい ひろ しょうかい ちいき しえん いっそうすいしん ていあん
取組事例を広く紹介するなど、地域への支援を一層推進することを提案します。

しゅし
《趣旨》

- こうした点を踏まえ、町内会・自治会における効果的な取組を町内会・自治会の活動内容と併せて紹介するなど、地域への支援を一層推進することが地域コミュニティの活性化を図る上で効果的であると考えます。

※ 案1の上から3つ目までの趣旨と同様の内容

ていげん わか せだい たい ちょうないかい じちかい かにゅう さんか そくしん む さら とりくみ
提言3：若い世代に対する町内会・自治会への加入・参加の促進に向けた更なる取組の
すいしん ていあん
推進を提案します。

しゆし
《趣旨》

- ちょうないかい じちかい かいいん やくいん こうれいか すす なか ちょうないかい じちかい かつせいか
○町内会・自治会の会員や役員の高齢化が進む中、町内会・自治会を活性化させるためには、
わか せだい ちょうないかい じちかい かにゅう さんか はばひろ せだい ちょうないかい じちかい さき
若い世代も町内会・自治会へ加入・参加し、幅広い世代で町内会・自治会を支えることが
ひつよう かんが
必要であると考えます。
- わか せだい ちょうないかい じちかい かつどう し りかい ぶか げんざい おも てんにゅうしゃ
○若い世代に、町内会・自治会の活動を知って、理解を深めてもらうため、現在、主に転入者
はいふ かにゅうそくしん ちらし ほ しけんこうてちょう はいふ じ あわ はいふ こ
へ配布している加入促進チラシを、母子健康手帳の配布時に併せて配布することで、子ども
つう ちょうないかい じちかい かつどう かんしん きだい
を通じて町内会・自治会活動へ関心をもってもらうことが期待できます。
- また、こどもかんれん いべん となど わか せだい あつ ば かつよう ぶきゅうけいはつば ねる となど てんじ
こども関連のイベント等、若い世代が集まる場を活用し、普及啓発パネル等を展示す
こうかてき かんが
ることも効果的であると考えます。
- ほか ちょうないかい じちかい こ かい かにゅう つう ちょうないかい じちかい りかい ぶか
○その他に、町内会・自治会の子ども会への加入を通じて、町内会・自治会の理解を深める
こうかてき かんが
ことも効果的であると考えます。

だい き さいわいくくみんかいぎ ふ お ー ら む じっしがいようあん
第5期幸区区民会議フォーラム実施概要案1 もくてき
目的

さいわいくくみんかいぎ とりくみ ていげんないようなど ほうこく くみんかいぎ にんちどこうじょう ちいき かだいかいけつ む
幸区区民会議での取組や提言内容等を報告し、区民会議の認知度向上と、地域の課題解決に向
けた、より一層の区民の参加と協働を図るため、「幸区区民会議フォーラム」を開催する。

2 じっしにちじ
実施日時

へいせい ねん がつ にち ど しみんかつどうこうりゅうい べん と どうじつかいさい
平成28年2月20日（土）13:00～16:00 → 「市民活動交流イベント」と同日開催

3 かいじょう
会場

さいわいくやくしょ かい
幸区役所1階

4 ないよう
内容(1) くみんかいぎ とりくみしょうかい すてーじ じかんていどじっし
区民会議の取組紹介（「ステージ」で1時間程度実施）

れい ぶかいほうこく ふん ぶかいほうこく ふん しつぎおうとう かいじょう いけんこうかん ふん
例：A部会報告（15分）＋B部会報告（15分）＋質疑応答、会場との意見交換（30分）

(2) ぶーすしゅつてん しゅつてん てんじすぺーす など しゅつてん
ブース出展（「出展・展示スペース」等で出展）

- じてんしゃうんてんしみゅれーたー くいつくあーむなど せっち
・自転車運転シミュレーター、クイックアーム等の設置
- かつどうしょうかいばねるなど てんじ
・活動紹介パネル等の展示

(3) ほか
その他

しみんかつどうこうりゅうい べん と しゅつてんだんたい れんけい い べん とらいじょうしゃいんたびゅー しーる
「市民活動交流イベント」出展団体と連携した、イベント来場者インタビューや、シール
とうひょうなど じっし けんとう
投票等の実施を検討

「地域力で暮らしやすいまち部会」調査審議スケジュール（案）

| ねんど 年度 | つきひ 月日 | かいぎめい 会議名 | かいぎ かくとくもくひょう 会議の獲得目標 |
|----------------------|-----------|---|---|
| 2015 (平成27) 年度 | 4～6月 | ひありんぐちやうさきじっし ヒアリング調査の実施 ①ろうじんくらぶ とでちゆうぶちやうないかい つくも かい ②くぬぎたいくち自治会 | |
| | 4月20日 | だい かいぶかい 第6回部会 | ちやうないかい じちかい じっし とりくみ ほうこうせい かくにん① ・町内会・自治会で実施する取組の方向性の確認① |
| | 6月9日 | だい かいぶかい 第7回部会 | さいわいく きんじよさき あいも てる じぎやう じやうほうきやうゆう ・「幸区ご近所支え愛モデル事業」の情報共有 ちやうないかい じちかい じっし とりくみ ほうこうせい かくにん ・町内会・自治会で実施する取組の方向性の確認② |
| | 6月29日 | だい かいぶかい 第8回部会 | こんご とりくみ ほうこうせい かくにん ・今後の取組の方向性の確認 |
| | 7月24日 | だい かいぶかい 第9回部会 | だい かいくみん かいぎ ほうこくないよう かくにん ・「第4回区民会議」報告内容の確認 |
| | 8月31日 | だい かいくみん かいぎ 第4回区民会議 | ちやうさきしんぎないよう ほうこく 《調査審議内容の報告》 ひありんぐちやうさき さいわいく きんじよさき あいも てる じぎやう ・ヒアリング調査や「幸区ご近所支え愛モデル事業」の じやうほうしゆしゆなど じやうきやうほうこく 情報収集等の状況報告 こんご とりくみ ほうこうせい ・今後の取組の方向性について |
| | 9月24日 | だい かいぶかい 第10回部会 | こんご ちやうさきしんぎ じこくなど くだい かいけつ む とりくみ かくにん ・今後の調査審議事項等、課題解決に向けた取組の確認 |
| | 10月29日 | だい かいぶかい 第11回部会 | ていげん とりま とめ かくにん ・提言のとりまとめに向けた確認 ちいき こみゆ に てい かつせい か し じやうほうはっしん ないよう かくにん ・地域コミュニティの活性化に資する情報発信の内容確認 くみん かいぎ ふ おーらむ じっし ないよう けんとう ・区民会議フォーラムの実施内容の検討 |
| | 11月30日 | だい かいぶかい 第12回部会 | ちいき こみゆ に てい かつせい か し じやうほうはっしん ないよう かくにん ・地域コミュニティの活性化に資する情報発信の内容確認 ぶかいていげん ないよう けんとう ・部会提言内容の検討 くみん かいぎ ふ おーらむ じっし ないよう けんとう ・区民会議フォーラムの実施内容の検討 |
| | 12月18日 | だい かいぶかい 第13回部会 | ぶかいていげん ないよう けんとう ・部会提言内容の検討 くみん かいぎ ふ おーらむ じっし ないよう けんとう ・区民会議フォーラムの実施内容の検討 |
| | 1月 | だい かいぶかい 第14回部会 | |
| | 2月上旬 | だい かいくみん かいぎ 第5回区民会議 | ちやうさきしんぎないよう ほうこく 《調査審議内容の報告》 ぶかいていげん ないよう ほうこく ・部会提言内容の報告 くみん かいぎ ふ おーらむ じっし ないよう かくにん ・区民会議フォーラムの実施内容の確認 |
| | 2月20日 | くみん かいぎ ふ おーらむ 区民会議フォーラム | |

だい きさいわいくみんかいき すけじ ゆー るあん へいせい ねん がつ にちじてん
 「第5期幸区區民會議」スケジュール案(2015(平成27)年11月30日時点)

| | 2014年度(平成26年度) | | | | | | | | | | 2015年度(平成27年度) | | | | | | | | | | 2016年度(平成28年度) | | | |
|----------------|---|----|-------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-------------|----|-------------|--|-------------|------------|-------------|-------------|--------------|---------------|---------------|---------------|----|------------------------|--------------|-----------------|----|
| | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4-5月 | 6月 |
| 区民會議 (全体會議) | 7/31 第1回 | | | | | 12/3 第2回 | | | | 3/19 第3回 | | | | | 8/31 第4回 | | | | | | | | だい かい 第5回 | |
| 企画運営 會議 | | | | | 11/17 第1回 | | | | | 3/4 第2回 | | | | | 8/24 第3回 | | | | | | | だい かい 第4回 | | |
| 自転車事故ゼロ部会 | 7/1 第5期幸区區民會議任期開始 ○審議テーマの選定 「自転車の交通安全対策」 ○部会名の決定 ○正副部会長の決定 ○取組の方向性の決定 | | | | | | | | | | ○現地調査の実施 ○ヒアリングを踏まえた課題解決手法・実施主体の検討 ○課題解決に向けた実践的取組 ○課題解決手法・実施主体の継続的検討 ○提言内容の検討、とりまとめ ○フォーラム実施内容の検討 | | | | | | | | | | 報告書のとりまとめ 区長へ報告書の提出 | | | |
| 地域力で暮らしやすいまち部会 | | | 9/30 第1回 | 10/28 第2回 | | 12/16 第3回 | 1/27 第4回 | 2/20 第5回 | | | | 4/20 第6回 | 6/9 第7回 | 7/24 第9回 | | 9/24 第10回 | 10/29 第11回 | 11/30 第12回 | 12/18 第13回 | | | | (だい かい) 第14回 | |
| | ○審議テーマの選定 「高齢者・障害者の暮らしやすい街の実現」 「地域コミュニティ活動の活性化」 ○部会名の決定 ○正副部会長の決定 ○取組の方向性の決定 | | | | | | | | | | ○調査・ヒアリングを踏まえた課題解決手法・実施主体の検討 ○課題解決に向けた実践的取組 ○課題解決手法・実施主体の継続的検討 ○提言内容の検討、とりまとめ ○フォーラム実施内容の検討 | | | | | | | | | | | | | |
| 予算要求 | 平成27年度予算要求 | | | | | | | | | | 平成27年度予算議決 | | | | | | | | | | 平成28年度予算要求 | | | |
| | | | | | | | | | | | 平成28年度予算要求 | | | | | | | | | | 平成28年度予算議決 | | | |